

第5学年 社会科学学習指導案

日時 平成28年10月20日(木) 5校時
場所 初山別村立初山別小学校 5, 6年生教室
児童 第5学年(2名)
指導者 教諭 佐治慎吾

1 小单元名 「自動車づくりにはげむ人々」(大单元名 工業生産を支える人々)

2 小单元について

児童は、これまで日本の地理・気候的特色やそれを生かした暮らしを営む地域についての学習や、農業、漁業を中心とした食料生産と生活の結び付きについての学習を行ってきた。写真やグラフ等の資料から事実を読み取り、既習や生活経験をもとに予想を立てることを行ってきた。

大单元は、オリエンテーションと三つの小单元で構成されている。本時で取り扱う第一小单元「自動車づくりにはげむ人々」では、日本の代表的な基幹産業である自動車の生産を教材化し、工業生産の様子や働く人々の工夫や努力、部品工場との関連、輸送の役割などについて捉えていく。第二小单元「世界とつながる日本の工業」では、自動車の輸出という、第一小单元の学習内容からつながる事例を最初に取り上げ、そこから工業生産における貿易や海外生産のはたらきに気付かせるとともに、工業生産が抱える課題を捉えさせるという、一貫した展開になっている。そして第三小单元「工業の今と未来」では、これまでの具体的な事例の学習を踏まえながら、日本の工業生産の特色や今後のあり方について考えていくという展開をとっている。

本小单元では、第二、第三小单元の内容につなげていくために、「自動車は、開発から輸送まで多くの人々が携わってつくられていて、様々な工夫や努力をして消費者や社会のニーズに応えた自動車が生産され、届けられている」ということを捉えさせる。これまでに学習した農業や漁業などの食料生産に比べ、工業生産は児童にとって身近な産業とはいえない。そこで、自分の家の自動車はどんな自動車か、どんな自動車に乗りたいか、自動車の部品の数はどれくらいあるのかということにきっかけとして、自動車づくりに関心をもたせ、主体的に学習活動を行えるようにする。自動車工場のライン、モジュール生産、アッセンブリーオーダーシートなどの工夫や、ジャスト・イン・タイム方式、輸送手段の工夫などについて追究することを通して、消費者や社会のニーズに応えた自動車づくりの工夫や努力、そしてそれに関わる多くの人々の存在に気付かせていく。

3 研究の視点

(1) 視点1 主体的な学びを生む学習活動の工夫

①学ぶ内容と解決の方法を見通す活動の設定と工夫(やってみたい)(考えたい)

本小单元では、小单元の導入の際に、自分の家の自動車や、世の中の自動車について考える時間をとる。また、自動車の部品がどれくらいの数あるのかということを考え、その数が3万個以上あるという驚きの事実を提示する。この際、身近な工業製品の部品の数を知らせることで、比較して考えられるように提示する。また、部品の数を考える際は、実際の車を見たり触ったりして考えられるようにする。このことで、児童に自動車に対する興味をもたせ、3万個以上の部品を使ってどのようにつくられているのかということについて疑問をもたせ、学習問題を主体的につくっていく。

本時では、前時までに学習したキャリアカーと船の2種類の輸送手段について振り返り、苅田(福岡県)から京都市まで新車を輸送するのにキャリアカーだけでなく船も使って輸送するという事実を提示する。陸路だけで輸送できるのに、どうして船が使われるのかということを考えることで、それぞれの輸送手段の長所と短所を比較することに焦点を絞って考える学習課題をつくっていく。

②学びの過程や結果を振り返り、次の学びへとつなげる活動の設定と指導のあり方(学びたい)

本小单元では、授業の終わりに毎時間「今日の授業を終えてわかったこと」を振り返りとして記入する。「学び方」ではなく「学んだ内容」について振り返ることは、1時間の学習の学びを確かなものにできると考える。また、次の時間に課題となる新たな事実や疑問は、その前の時間までの知識・理解が解決の基盤となるものであり、振り返りの活動を通して知識・理解を確かなものにす。また、1時間のまとめを個人で考える時間もとる。学んだことを表現することで、理解をより深められると考える。

本時でも、まとめを個人で考え、学んだ内容についての振り返りを記述させる。「わかった

こと」だけでなく、他にも感じたことや思ったことを自由に書くようにし、主体的に学ぶ姿勢を教師が把握し、評価できるようにしたい。

(2) 視点2 思考力・表現力を育成する活動の工夫

①学びをつなぎ、筋道立てて考え、根拠や理由を示して伝える活動の工夫（話したい）（聞きたい）

本小単元を通して、自分の意見や考えをペアで交流する場面をとる。また、その後は、自分の考えではなく、相手の考えを教師（全体）に説明する場面をとる。このことで、「相手に自分の説明を理解してもらおう」という話し手の相手意識を生むことができると考える。話し手は、自分の考えを説明してもらおうため、聞き手が十分に納得して理解しなければいけないと考える。聞き手を納得させ理解させようとする中で、自然と筋道立てた、根拠や理由のしっかりとした説明活動が行えると考えられる。

本時では、船を使う理由についていくつかの視点がある。根拠を立てて説明しなければ、費用の問題なのか、距離の問題なのかが伝わらない。相手に理解してもらおうと説明をすることで、その視点を理解してもらおうと焦点化して説明する活動に発展することを期待する。

②解決のきっかけをつかみ、考えを深めるための交流の工夫（聞きたい）（やってみよう）

(2) ①でも述べたように、本単元では必ずペア交流を行い、その後相手の考えを説明する場面をとる。相手の考えを理解するために、また相手に理解しようとしている意思を伝えるために、聞き手側に「○○ってどういうこと？」と、自分の言葉に言い換えて確認する関わり方を指導する。相手の考えを説明する必要から生まれた「聞きたい」と、「聞きたい」意思が伝わる関わり方によって、話し手はさらに相手がより理解してくれるように「話したい」と感じ、相乗効果が生まれると考える。

本時では、キャリアカーと船の長所において費用や距離など様々な視点がある。「自分にはない考えがあれば、わかるまで確認しよう。」と交流のポイントを伝えることで、自分では考えつかなかった視点に触れたときに、さらに追究しようという聞き手の相手意識を高めることができると考える。

4 小単元の目標と評価規準

(1) 小単元の目標

- 工場働く人たちの工夫や努力、願いを捉え、自動車工場と関連工場の結び付きに気付く。
- 輸送に携わる人たちの工夫や努力、願いを捉え、工業生産を支える運輸の働きに気付く。
- 利便性、安全性、環境に配慮した自動車づくりという消費者や社会のニーズに基づいて自動車づくりが進められていることに気付く。

(2) 小単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用技能	社会的事象についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・自動車づくりの仕事やそれに関わる人たちの工夫や努力について関心をもち、意欲的に調べようとしている。 ・これからの自動車づくりについて、意欲的に考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車づくりの様子について問いをもち、予想して、それらを適切に表現している。 ・自動車づくりに関わる仕事のさまざまな工夫や努力について、資料や調べたことをもとに考え、適切に表現している。 ・これからの自動車づくりについて、消費者、生産者の両面から考え、適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の生産の様子や工場の立地、運輸の様子などについて、地図や自動車会社のウェブサイト、パンフレットなど、さまざまな資料を適切な方法で収集し、読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の生産や輸送における工夫や努力に気づき、生産の主な工程や、自動車工場と関連工場との結び付き、交通網の広がりについて理解している。 ・自動車は消費者の要望に基づいてつくられていること、これからは地球環境に配慮した自動車づくりも重要であることを理解している。

5 小単元の指導計画（13時間扱い）

時間	○主な学習活動 ◎教師の働きかけ ・児童の活動	評価規準と視点 ○支援
1	<p>○自分の家の車のメーカーや種類について調べる。 ○日本の車のメーカーや車種について知る。 ◎メーカー…トヨタ、日産、ホンダ、マツダ、三菱、スバル、スズキ… ◎車種…日産自動車一般向けで、ホームページで確認できるだけで20種類以上</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>なぜ、日本ではこんなにたくさんの種類の車をつくっているのだろう。</p> </div> <p>○理由を考える。 ・大きさや色などの好みがあるから。 ・人や物を運ぶ仕事などでは大きい車が必要。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>日本の自動車会社は、お客さんのニーズに合わせていろいろな種類の車を作っている。</p> </div> <p>◎車に対するニーズを考えさせ、いくつかの種類に分けて整理しておく。 【便利さ、快適さ】（…大きさ、乗りやすさ） 【デザイン】・【値段】・【安全性】・【環境への配慮】 ○自分がどんな自動車に乗りたいか、自分のニーズを考える。</p>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車や自動車づくりについて関心を持ち、意欲的に調べようとしている。（発言・ノート） <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車づくりにおいて、消費者がどのようなニーズをもっているかを理解している。（発言・ノート）
2	<p>○自動車にはどんな部品があり、どのくらいの部品の数があるかを予想する。 ◎部品の数が約3万個であることを知らせる。</p> <div style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【学習問題】 自動車はどのようにしてつくられ、どのようにしてわたしたちのもとに届くのだろう。</p> </div> <p>○学習問題を作り、これからどのようなことを調べていきたいかを考える。 ・どうやって組み立てるのか。 ・たくさんの種類をどうやって作り分けるのか。 ・3万個もの部品をどうやってつくっているのか。 ・完成した自動車をどうやって運んでいるのか。</p>	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車や自動車に対するニーズ、部品などについて調べたことをもとに、自動車づくりの様子やそれに携わる人々の工夫や努力について調べる学習問題や具体的に調べることを考え、表現している。（発言・ノート）
3 4 5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自動車はどのようにして組み立てられているのだろう。</p> </div> <p>○ウェブサイトや資料で、自動車が組み立てられる工程とそれに関わる人々の作業について調べる。 ・工場の広さは約236haある。 ・プレス、溶接、塗装、組立、検査、出荷の順に複数種の自動車を1台ずつラインで生産されている。 ・日産九州工場は3,600人の人が働き、約1,200台のロボットが使われている。 ・人が作業したり、ロボットが作業したりする工程が分かっている。 ・どんな部品を取り付けるかが書かれたアッセンブリーオーダーシートが自動車1台1台に貼られて</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>視点1-① 身近なものの部品の数を知らせ、比較して考え、また実際の車を細部まで見て考えることで自動車に対する興味をもたせ、膨大な数の部品からつくられることから、自動車づくりに対して関心をもたせ、学習問題を設定する。</p> </div> <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車を組み立てる方法について、工場の写真や地図などを互いに照らし合わせるなどして、具体的に読み取っている。（ノート） <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車づくりがラインの工夫や人とロボットの分業、アッセンブリーオーダーシートやモジュール生産などの工夫によって、効率的に進められていることを理解している。（発言・ノート）

	<p>いて、それを確認しながら1つのラインで違う種類の車を正確につくっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> エンジンなどはユニット工場のラインで組み合わせられ、セットの状態自動車に取り付けられるモジュール生産という方法で生産している。 検査は800もの項目を人の手で行っている。 <p>○自動車工場で働く人たちが、どのようなことを大切にしているかを考えてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全に作るために、ロボットを使うこともある。 ラインでつくると一つ一つの作業が丁寧にできる。 モジュール生産をすると、全部初めから組み立てなくてもよいので、効率が良い。 アッセンブリーオーダーシートを見ながらつくるのは、一つ一つ間違えずにつくるためだと思う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自動車工場では、効率よく、安全に、正確に自動車をつくれる様々な工夫をしている。</p> </div> <p>○振り返りを記入する。</p>	
<p>6</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>3万個もの部品は、どこでつくっているのだろう。</p> </div> <p>○既習の自動車工場配置図や、自動車工場周辺の地図を提示し、自動車工場の立地とその理由を考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 港がすぐ近くにある。 船で車を運べるからじゃないか。 近くに鉄道や高速道路もある。 <p>◎自動車工場内にはシートやハンドル、ガラス等をつくる工場がないことに気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> シートやハンドルなど、それぞれの部品をつくる工場があって、そこから運んでいるのではないか。 関連工場は、どこにあるのかな。 <p>○地図を使って、自動車関連工場を探し、立地条件を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車工場の近くにある。 高速道路や鉄道のそばなどにある。 すぐに完成した部品を運べるからじゃないか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>部品はいろいろな工場で作られている。高速道路や鉄道のそばにあり、すぐに届けられるようになっている。</p> </div>	<p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車工場配置図や地図を用いて、自動車関連工場の立地条件を適切に読み取っている。(ノート) <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車の部品は交通の便の良いところで作られ、自動車工場に効率よく届けられるようになっていることを理解している。(ノート)
<p>7 8 9</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自動車のシートはどのようにつくられ、どのように届けられているのだろう。</p> </div> <p>○資料映像を見て、自動車のシートがどのようにしてつくられているかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車の組立と同じようにラインの上で流れ作業で作られている。 シートをつくるのに必要は部品は、さらにその関連工場で作られて運ばれている。 シート一つに50もの関連工場がある。 自動車と同じく、人の手で検査をしている。 	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関連工場では、効率よく生産・出荷するために、また消費者のニーズに合わせて自動車生産を行うために工夫や努力をしていることを考え、表現している。(発言・ノート) <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車づくりが多く関連工場に支えられていること、また自動車工場と関連工場の信頼関係

	<p>○「内山さんの話」を読み、シート工場の人のおいを知る。</p> <p>◎「自動車と同じようにラインで」「順番に並んでいるかを確認して出荷」「納期の3時間前に注文が来る」ことに着目させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決められた数を決められた順番で、決められた時間に運ぶなんて大変だ。 ・早めにたくさんつくってまとめて届けた方がいいのではないか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>早めにたくさんつくらずに、どうして決められた数を決められた順番で、決められた時間に届けているのだろう。</p> </div> <p>○既習をもとに、決められた数を決められた順番で、決められた時間に届けているのかを考える。</p> <p>【効率性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車工場では1台1台違う車を組み立てている。 ・注文があるものしかつくりませんので無駄がない。 ・つくったらすぐに出荷できる。 <p>【消費者のニーズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客さんが1台1台違う注文をしている。 ・注文が細かく違う。 <p>◎東日本大震災の際に九州の工場のラインが止まった事実を知らせ、自動車工場と関連工場が支え合っていることに気付かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>効率よく、お客さんのニーズにあった自動車をつくるために、「ジャスト・イン・タイム方式」で部品をつくっている。</p> </div> <p>○振り返りを記入する。</p>	<p>のもと「ジャスト・イン・タイム方式」が成り立っていることを理解している。(発言・ノート)</p>
<p>10 11 本時</p>	<p>◎自動車の値段と、それに含まれる費用について考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料費、人件費、<u>宣伝費</u>、<u>輸送費</u>などがある。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>完成した自動車は、どうやって運ばれてわたしたちに届くのだろう。</p> </div> <p>○自動車を運ぶ手段である船とキャリアカーについて、その特徴や、どのようにして自動車を積み込んでいるかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船には、ギャングと呼ばれる人たちが、1台1台傷つけないように慎重に運転して積んでいる。 ・車と車の隙間は10~30cmと、とても狭くしてたくさんの車を積めるようにしている。 ・一度に600台~5,000台も運べる。 ・キャリアカーは、6台に1時間かけて積んでいる。 ・燃料を無駄にしないように、帰り道も何かを運ぶようにしている。 <p>○航空機・列車輸送の方法があることも知らせる。</p> <p>○苅田で生産された自動車が京都市までどのように運ばれてくるかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州から本州は車で渡れるからキャリアカー。 <p>◎苅田から京都市までの実際の輸送ルートを地図で提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苅田からフェリーで運んでいる。 	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸送手段ごとの利点や欠点を様々な視点から考え、表現している。(発言・ノート) <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新車を大切に扱い届ける人々の工夫や努力、また様々な視点から考えられて輸送経路や手段が選ばれていることを理解している。(発言・ノート)

	<p>・道路が続いているのに、どうして…？</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>どうして、キャリアカーだけで運べる場所にも船を使って運んでいるのだろう。</p> </div> <p>○船で運ぶ理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船は一度にたくさん運べる。 ・一度にたくさん運べると、輸送費が安く済む。 <p>◎キャリアカーだけで運ぶ地域がわかる地図を提示し、なぜこの地域はキャリアカーだけで運ぶのかを考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアカーは、港のないどんなところにも運べる。 ・近いところには、キャリアカーで運んだ方が早くて手軽だ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>輸送手段によって、一度に運べる量や、運ぶ距離や時間、かかる費用など、様々な良さがあるため、手段を使い分けている。</p> </div> <p>○振り返りを記入する。</p>	
<p>1 2 1 3</p>	<p>○最新の自動車とその特徴を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガソリンじゃなくて電気で走る自動車がある。 ・カメラで後ろが見やすい自動車がある。 ・自動運転をしてくれる自動車もある。 ・車いすを載せやすいようにしている。 ・これらは、お客さんのニーズだね。 ・環境のことを考えたニーズもあるね。 <p>○1時間目に確認したニーズ【便利さ、快適さ】・【デザイン】・【値段】・【安全性】・【環境への配慮】を想起し、分類する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>お客さんや社会のニーズを受けて、自動車づくりに関わる人々はどのような思いで自動車をつくっているのだろう。</p> </div> <p>○これまでに学習してきた、自動車づくりに関わる人々の工夫や努力を想起し分類する。</p> <p>◎お客さんのニーズと自動車づくりに関わる人々の工夫や努力が結び着くことに気付かせる。</p> <p>○これから、どのような自動車が必要になってくるのかを考える。</p> <p>○小単元のまとめとして、学習問題の答えとなる文章を書く。加えて、続きの文章として「自動車づくりに関わる人々は」という主語で、人々の工夫や努力、願いについて振り返る。</p>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの自動車づくりについて、意欲的に考えている。(発言・ノート) <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車づくりに携わる人々の様々な工夫や努力について、既習をもとに考え、表現している。(発言・ノート) ・これからの自動車づくりについて求められることについて、消費者と生産者の両面から考え、表現している。(発言・ノート) <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最新の自動車とその特徴を調べ、テーマに沿って適切に整理・分類している。(ノート)

6 本時について

(1) 本時の目標

- ◎自動車の輸送について、輸送手段ごとの利点や欠点を様々な視点から考え、表現することができる。【思考・判断・表現】
- 自動車の輸送は、様々な視点から考えられて輸送経路や手段が選ばれていることを理解することができる。【知識・理解】

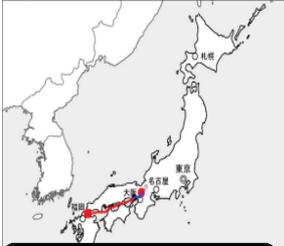
(2) 本時の展開

段階	○主な学習活動 ◎教師の働きかけ ・児童の活動	【評価規準】と視点 ○支援
つかむ 10分	<p>○前時を振り返る。 ・船で運んでも、最終的にはキャリアカーで運ぶ</p> <p>○苅田で生産された自動車が京都市までどのように運ばれてくるかを考える。 ・九州から本州は車で渡れるから、キャリアカーかな。 ・キャリアカーの方が速いしね。</p> <p>◎苅田から京都市までの実際の輸送ルートを地図で提示する。 ・苅田からフェリーで運んでいる。 ・ある港に着いてから、車で運んでいるのか？ ・道路が続いているのに、どうして…？</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>どうして、キャリアカーだけで運べる場所にも船を使って運んでいるのだろう。</p> </div>	<p>○掲示物の活用 ○キャリアカーと船との差がはっきりわかるように想起させる。 ○地図帳を使って空間的に捉えさせる。 ○キャリアカーの特徴として黒板に残す。 ○資料提示 ○神戸港だと知らせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>視点1-① 車だけで運べる、比較的近距離の土地でも船を使って輸送している事実を提示し、どうしてそのような手段をとる必要があるのかという疑問を児童に浮かび上がらせる。</p> </div>
つなく 25分	<p>○船で運ぶ理由を考える。 ・キャリアカーは一度に6台ずつしか運べないけれど、船は一度にたくさん運べる。 ・一度にたくさん運べると、輸送費が安く済む。 ・時間はかかるけど、一度にたくさん運べた方がよいから。</p> <p>○ペアで友達と考えを交流する。 ○友達の考えを発表する。 ◎発表されたものを、視点ごとに黒板に整理し、遠くまでたくさん運べることを、費用を抑えられることを確認する。</p> <p>◎北海道や東北にはどのように輸送されるか考えさせ、工場からの航路が一度神戸や横浜等を経由して苫小牧や仙台までつながっている事実を提示し、途中で降ろしたり積み替えたりして運べる船の特性を捉えさせる。 ◎キャリアカーで運ぶ範囲だけ色が変わっている地図を提示し、なぜこの範囲は船を使わずキャリアカーで運ぶのかを考えさせる。 ・工場に近いところだけが色が変わっている。 ・近いところは、キャリアカーだけで運ぶんだ。 ・キャリアカーは、港のないどんなところにも運べるからね。 ・近いところには、キャリアカーで運んだ方が早くて手軽だ。 ・船は、キャリアカーより時間がかかってしまう。</p> <p>○本時の学習をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>輸送手段によって、一度に運べる量や、運ぶ距離や時間、かかる費用など、様々な良さがあるため、手段を使い分けている。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>視点2-② 「自分にはない考えがあれば、わかるまで確認しよう。」と交流のポイントを伝え、「○○ってこと？」と聞き返して確認させるようにすることで、聞き手の相手意識を高める。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>視点2-① 相手の考えを全体交流で発表することを前提とすることで、ペア交流で相手に理解してもらおうという話し手の相手意識を高める。</p> </div> <p>○航路図の資料を提示 【思考・判断・表現】 ・自動車の輸送について、輸送手段ごとの利点や欠点を様々な視点から考え、具体的にノートに書いている。(ノート)</p> <p>○交流で納得できたことをノートに書き加えて整理する時間をとる。</p>

<p>判断する 10分</p>	<p>○「東京で注文した車が、本来フェリーで輸送されるはずなのに、キャリアカーだけで輸送されてきた」というケースについて、その理由をいくつか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風が来て、フェリーが欠航になったから、キャリアカーで運ぶしかなかった。 ・急ぎの注文があったから、キャリアカーで運んだ。 <p>○本時の振り返りを記入する。</p>	<p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車の輸送は、様々な視点から考えられて輸送経路や手段が選ばれていることを理解することができる。(ノート) <p>視点1-② 「今日の授業でわかったこと」を記入させる。具体例を挙げて判断させることで、それぞれの輸送手段の長所について振り返られるようにする。</p>
---------------------	--	--

7 板書計画

◎自動車の輸送

車で運べるのに
どうして船で?

どうして、キャリアカーだけで運べる場所にも船を使って運んでいるのだろう。

<船は…>

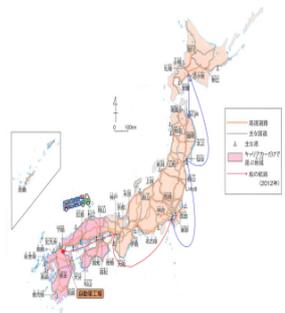
- ・時間はかかるが一度にたくさん運べる
- ・一度にたくさん運べるので費用がおさえられる

遠くにたくさん…
費用を安く…

<キャリアカーは…>

- ・船より速く運べる
- ・港の無いところもどんなところにも運べる

近くに素早く…
どんな場所にも…

費用 量 距離/場所と時間

輸送手段によって、一度に運べる量や、運ぶ距離や時間、かかる費用など、様々なよさがあるため、手段を使い分けている。

- 8 -